

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県令和2年第52週、第53週の発生動向

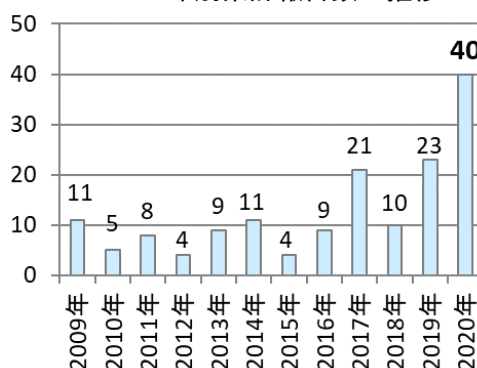
トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が207例あった。前週までの届出は668例であり、届出総数は875例となった。

・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が宮崎市(3例)、都城(1例)保健所からあった。県内の今年の累計報告数は40例で、1999年以降最も多くなった前年(23例)を大きく超える報告数となっている。

性別は男性が31例、女性が9例で、年齢群別では、20~30歳代が全体の約8割を占めている。

【梅毒】診断週による
年別累計報告数の推移



全数報告の感染症 (53週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病7例。

5類感染症：アメーバ赤痢1例、後天性免疫不全症候群1例、梅毒4例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	高鍋	90歳代	女	肺結核	痰
4類	E型肝炎	宮崎市	70歳代	男	—	肝機能異常
		日南	60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			80歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肺炎
			70歳代	女	—	発熱、発疹
		高鍋	70歳代	女	—	刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
日向	70歳代	女	—	発熱、発疹		
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	男	腸管アメーバ症	下痢、粘血便、しぶり腹、腹痛
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	無症候性キャリア	—
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳
			20歳代	女	無症状病原体保有者	—
		都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹

指定感染症 (53週までに新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 207例：保健所別、年齢別報告数は表のとおりで、主な症状は発熱、咳、全身倦怠感、咽頭痛、嗅覚・味覚障害等であった。

保健所	報告数	年齢群									
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
宮崎市	73例	2	6	14	9	10	8	6	10	7	1
都城	86例	1	14	8	6	11	9	9	12	13	3
延岡	6例		6								
小林	4例		2		1	1					
高鍋	6例	1	1	1		2				1	
高千穂	1例		1								
日向	12例		3	3	2	1	1	2			
中央	5例		3	1			1				
県外	14例	2	1	6	2	2			1		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

● 第52週

定点医療機関からの報告総数は449人(定点当たり12.9)で、前週比131%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

● 第53週

定点医療機関からの報告総数は273人(定点当たり7.9)で、前週比61%と減少した(年末年始を含む)。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

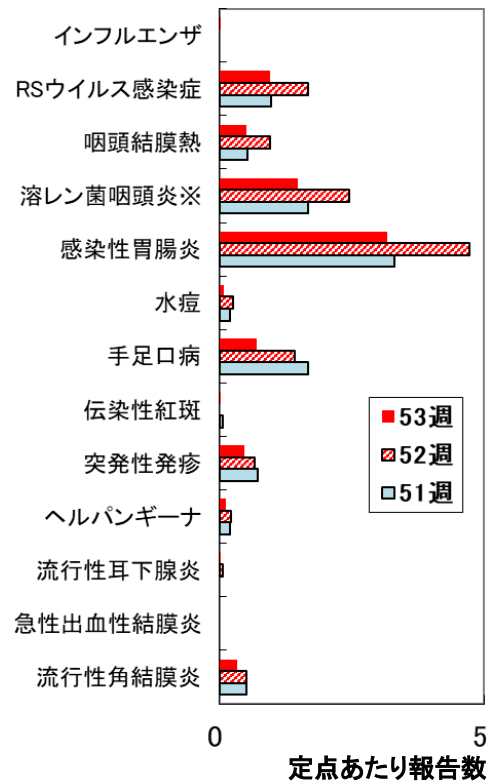
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は53人(1.5)で、前週(第52週)比60%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約0.7倍であった。日南(6.3)、延岡(3.8)、宮崎市(1.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は114人(3.2)で、前週比(第52週)67%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約0.3倍であった。日向(4.5)、中央(4.0)、宮崎市(3.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約4割を占めた。

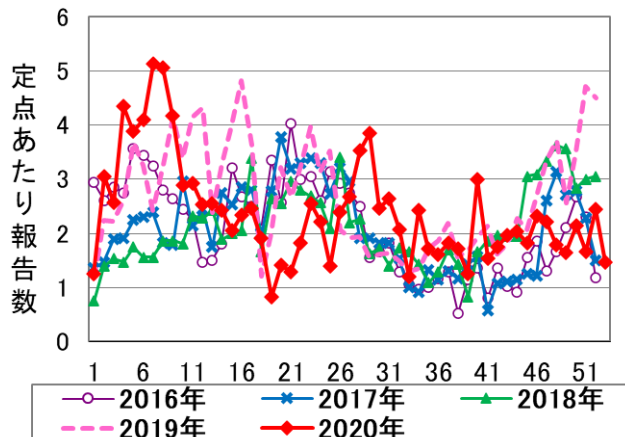
《3週間の推移》



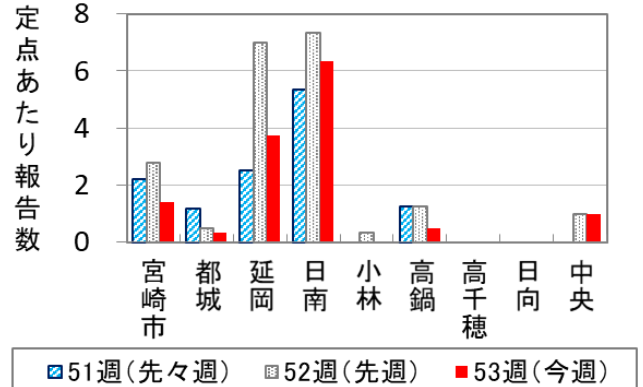
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

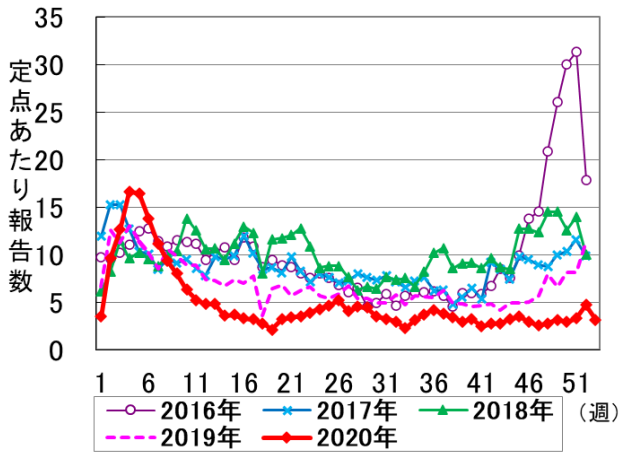
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



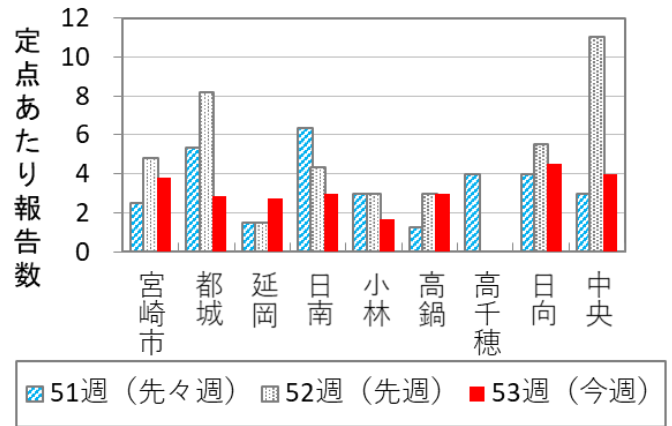
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	52週	53週
宮崎市	なし	なし
都城	なし	なし
延岡	なし	なし
日南	手足口病(5.7)	なし
小林	なし	なし
高鍋	なし	なし
高千穂	なし	水痘(1.0)
日向	なし	なし
中央	手足口病(5.0)	なし

流行警報レベル開始基準値

・手足口病(5)

流行注意報レベル基準値

・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年1月4日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	30歳代	女	2020.12.4	無症状	膾分泌物	2020.12.11
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	90歳代	男	2020.12.7	発熱	尿	2020.12.16

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Hepatitis A virus genotype IIIA	3	女	2020.11.27	発熱、黄疸、肝機能障害、軽度肝腫大、食欲不振	便	2020.12.25

A型肝炎の遺伝子型ⅢAが1件検出された。A型肝炎は発症前2週間から回復後1ヶ月程度までウイルスが便中に排出されている可能性があるため、二次感染に注意する必要がある。

🌸 全国 2020 年第 51 週、第 52 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

● 第 51 週

1類感染症	報告なし		
2類感染症	結核	213 例	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14 例	
4類感染症	E 型肝炎	5 例	オウム病 1 例 重症熱性血小板減少症候群 1 例
	つつが虫病	49 例	デング熱 1 例 日本紅斑熱 1 例
	レジオネラ症	18 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎 2 例 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 34 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎 3 例 クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群 11 例 ジアルジア症 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症 12 例 水痘（入院例） 6 例
	梅毒	49 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 百日咳 12 例
	風しん	1 例	

● 第 52 週

1類感染症	報告なし		
2類感染症	結核	282 例	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17 例	
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎 1 例 つつが虫病 40 例
	レジオネラ症	14 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎 4 例 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 20 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症 1 例 侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘（入院例） 1 例 梅毒 65 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 百日咳 14 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

● 第 51 週

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,499 人 (0.8) で前週比 99% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.9) の約 0.3 倍であった。鳥取県 (3.0)、福岡県 (1.9)、山形県、岩手県 (1.8) からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 9,217 人 (2.9) で前週比 104% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (10.3) の約 0.3 倍であった。熊本県 (14.0)、佐賀県 (11.8)、大分県 (10.3) からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

● 第 52 週

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は R S ウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,417 人 (0.8) で前週比 97% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.3) の約 0.3 倍であった。鳥取県 (3.0)、宮崎県 (2.4)、新潟県 (2.1) からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 9,969 人 (3.2) で前週比 109% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (8.1) の約 0.4 倍であった。熊本県 (18.5)、佐賀県 (11.6)、鹿児島県 (11.0) からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第52週(12月21日～12月27日)

疾病名	第51週	第52週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	35	60		56	1				3	
	定点当り	0.97	1.67	0.00	9.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	34	11	4	4		1	10	2	2
	定点当り	0.53	0.94	1.10	0.67	1.00	0.00	0.33	2.50	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	88	28	3	28	22	1	5		1
	定点当り	1.67	2.44	2.80	0.50	7.00	7.33	0.33	1.25	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	119	170	48	49	6	13	9	12	22	11
	定点当り	3.31	4.72	4.80	8.17	1.50	4.33	3.00	3.00	0.00	5.50
水痘	報告数	7	9	5	2		1		1		
	定点当り	0.19	0.25	0.50	0.33	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00
手足口病	報告数	60	51	12	8	1	17	4	4		5
	定点当り	1.67	1.42	1.20	1.33	0.25	5.67	1.33	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2									
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	24	9	3	5	3		4		
	定点当り	0.72	0.67	0.90	0.50	1.25	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	8	2	1	2	2				1
	定点当り	0.19	0.22	0.20	0.17	0.50	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	1		1					
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	3	1		2					
	定点当り	0.50	0.50	0.33	0.00	2.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～52週)

2類感染症	結核	151例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	3例(1)	A型肝炎	7例
	つつが虫病	54例(5)	日本紅斑熱	13例
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	8例(1)	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	5例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
	水痘(入院例)	9例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	破傷風	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	714例(46)	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例
			百日咳	37例

()内は今週届出分、再掲

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第53週(12月28日～01月03日)

疾病名	第52週	第53週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1					1				
	定点当り	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	60	34	24	2	1				7	
	定点当り	1.67	0.94	0.00	4.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	1.75
咽頭結膜熱	報告数	34	18	10	1	1	2		3	1	
	定点当り	0.94	0.50	1.00	0.17	0.25	0.67	0.00	0.75	0.00	0.25
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	88	53	14	2	15	19		2		1
	定点当り	2.44	1.47	1.40	0.33	3.75	6.33	0.00	0.50	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	170	114	38	17	11	9	5	12	18	4
	定点当り	4.72	3.17	3.80	2.83	2.75	3.00	1.67	3.00	0.00	4.50
水痘	報告数	9	3			1			1	1	
	定点当り	0.25	0.08	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00
手足口病	報告数	51	25	6	4		9	2	1		3
	定点当り	1.42	0.69	0.60	0.67	0.00	3.00	0.67	0.25	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1		1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	17	5	1	2	4		3	1	1
	定点当り	0.67	0.47	0.50	0.17	0.50	1.33	0.00	0.75	0.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	8	4	1	1	2					
	定点当り	0.22	0.11	0.10	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1					
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	2	2							
	定点当り	0.50	0.33	0.67	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～53週)

2類感染症	結核	152例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	7例
	つつが虫病	56例(2)	日本紅斑熱	13例
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	8例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
	水痘(入院例)	9例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	破傷風	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	875例(161)	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
			梅毒	40例
			播種性クリプトコックス症	2例
			百日咳	37例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲